

図 3.1 RI 汚染物及び放射化物がクリアランスされた後に埋設処分される場合の評価経路

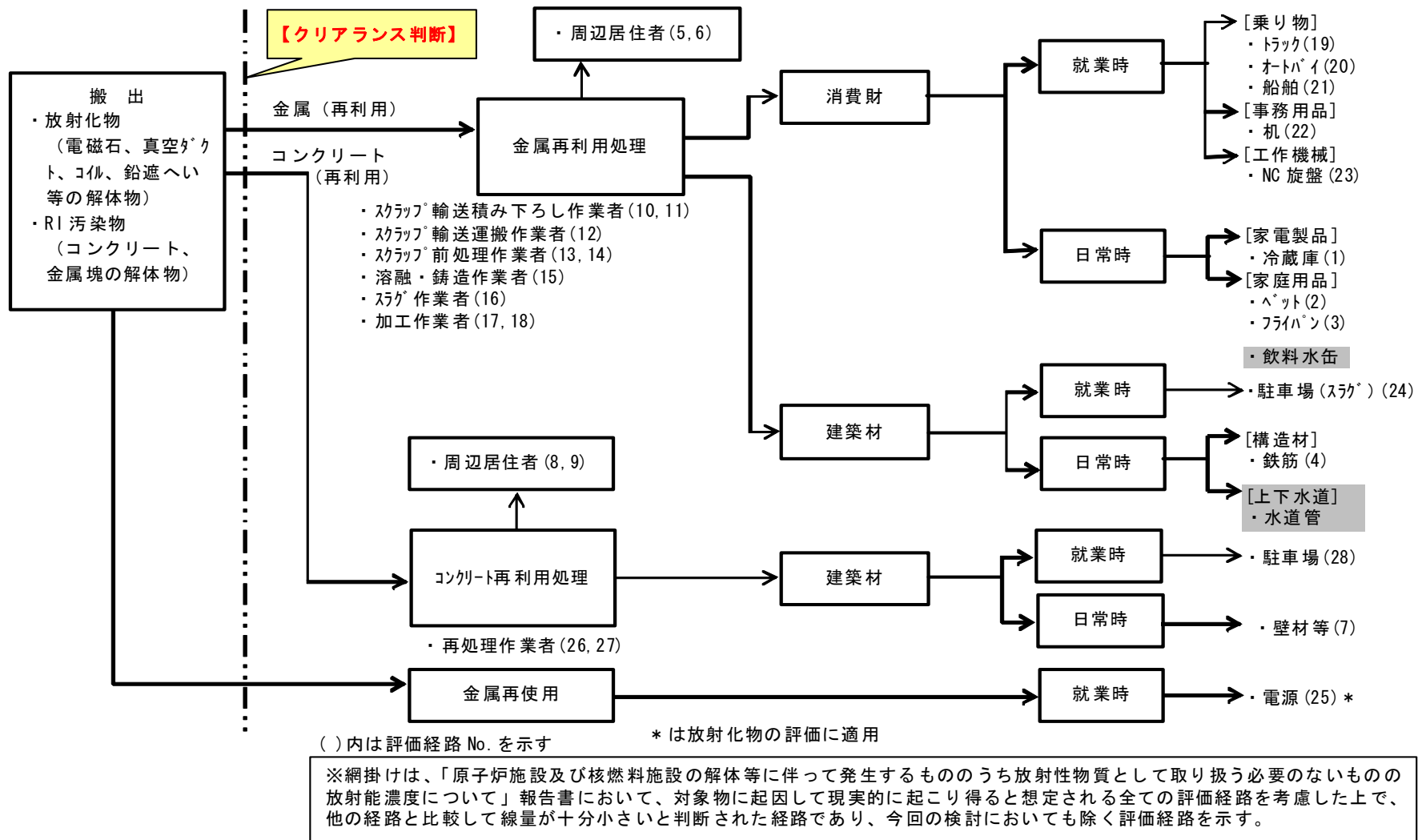


図 3.2 RI 汚染物及び放射化物がクリアランスされた後に再利用・再使用される場合の評価経路

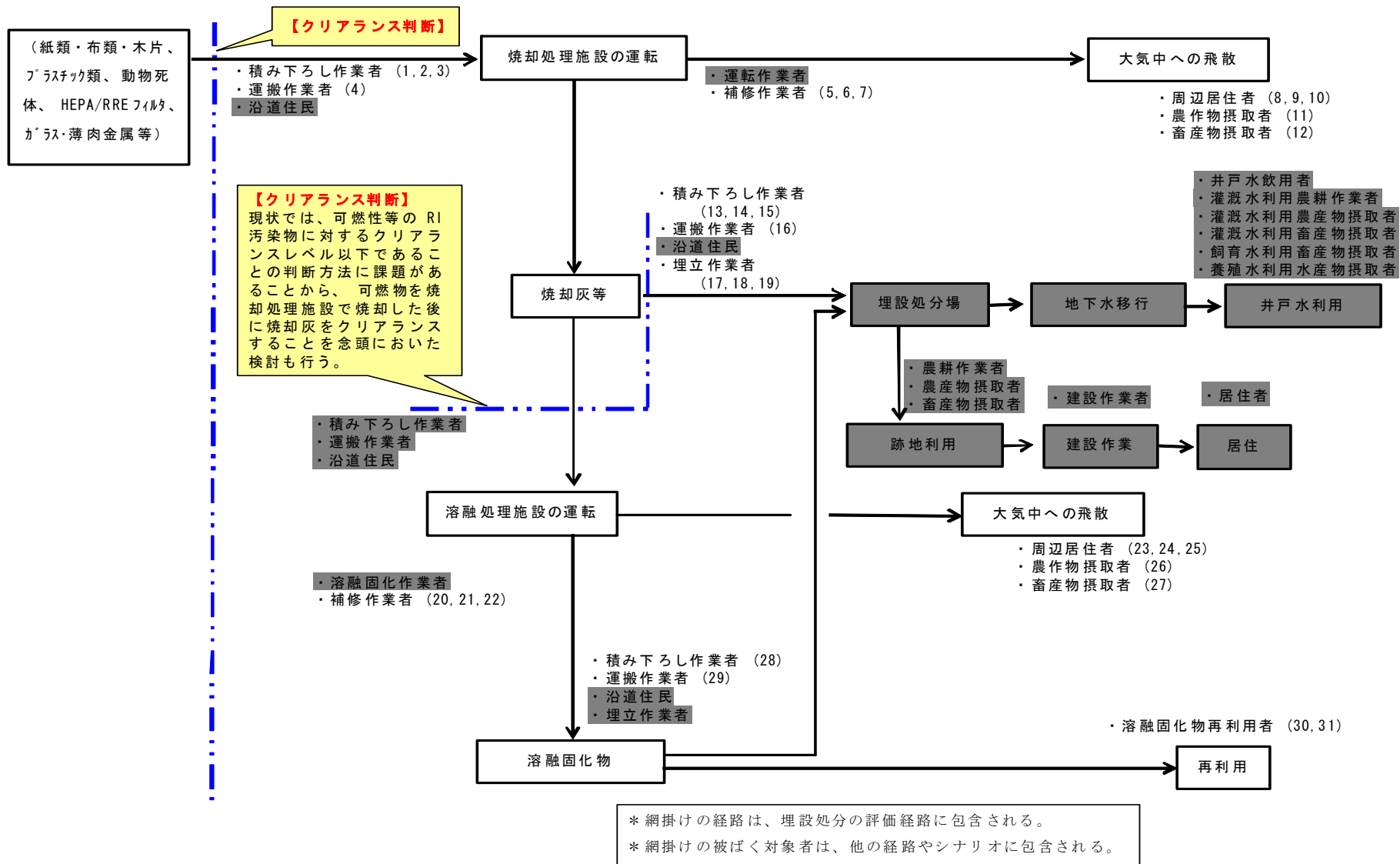


図 3.3 放射性同位元素の使用等に伴い発生する RI 汚染物のクリアランスレベルの算出に係る焼却処理の評価経路

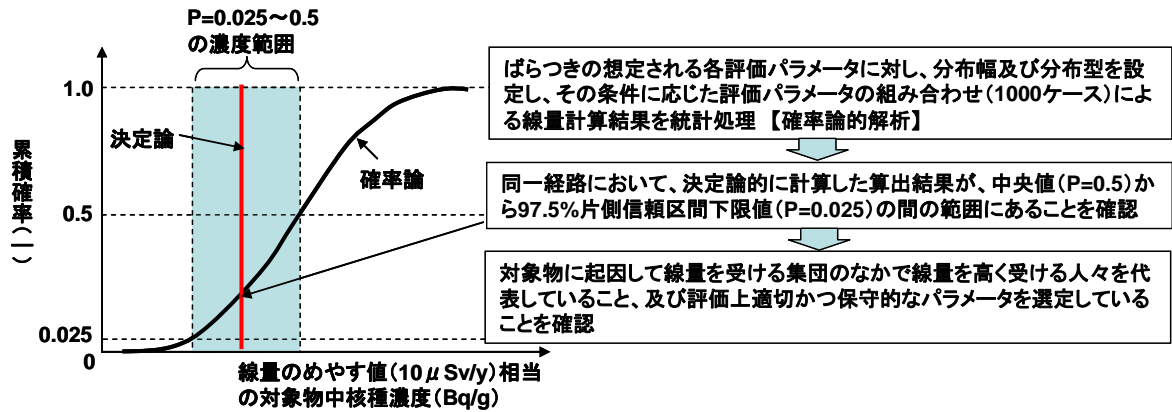


図4.1 評価パラメータのばらつき評価の方法

※原子力安全委員会放射性廃棄物・廃止措置専門部会ウラン廃棄物埋設検討小委員会（第6回）会合配付資料ウ検第6-1号の図1より引用

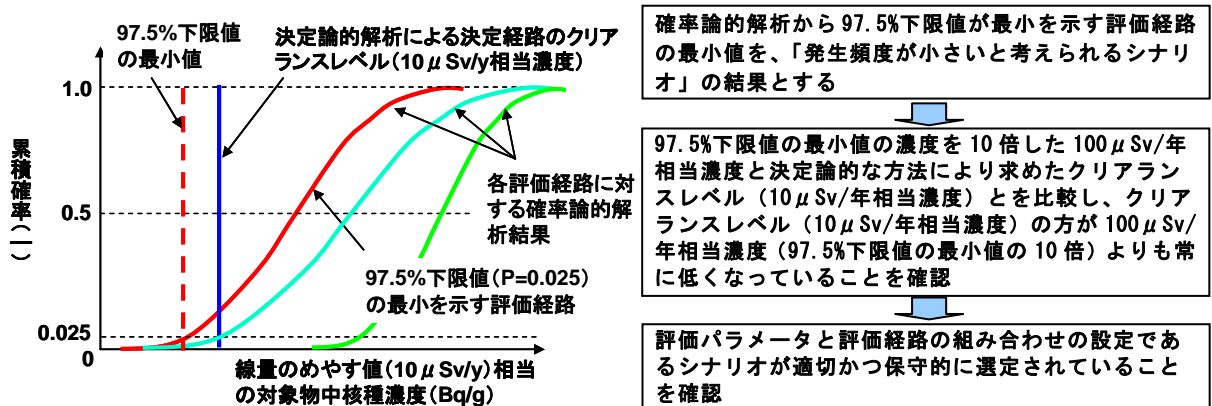


図4.2 シナリオ（評価パラメータ及び評価経路）の妥当性評価の方法

※原子力安全委員会放射性廃棄物・廃止措置専門部会ウラン廃棄物埋設検討小委員会（第6回）会合配付資料ウ検第6-1号の図1を引用

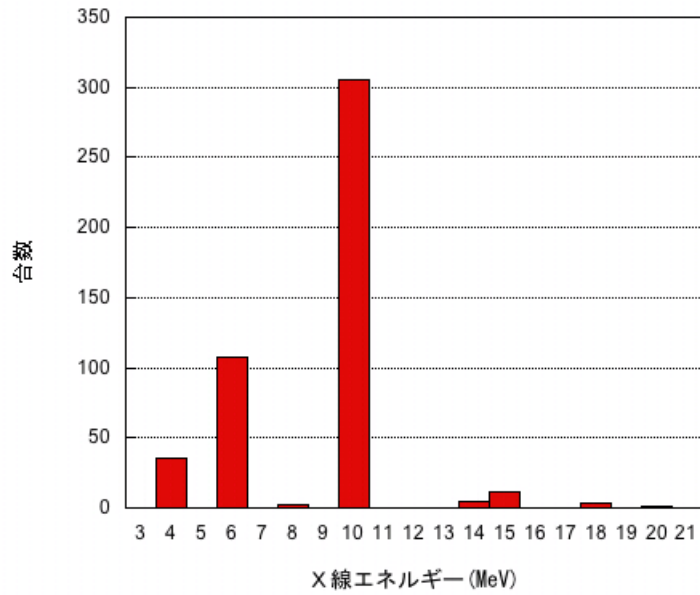


図 4.3 放射線治療用直線加速装置の X 線最大エネルギー

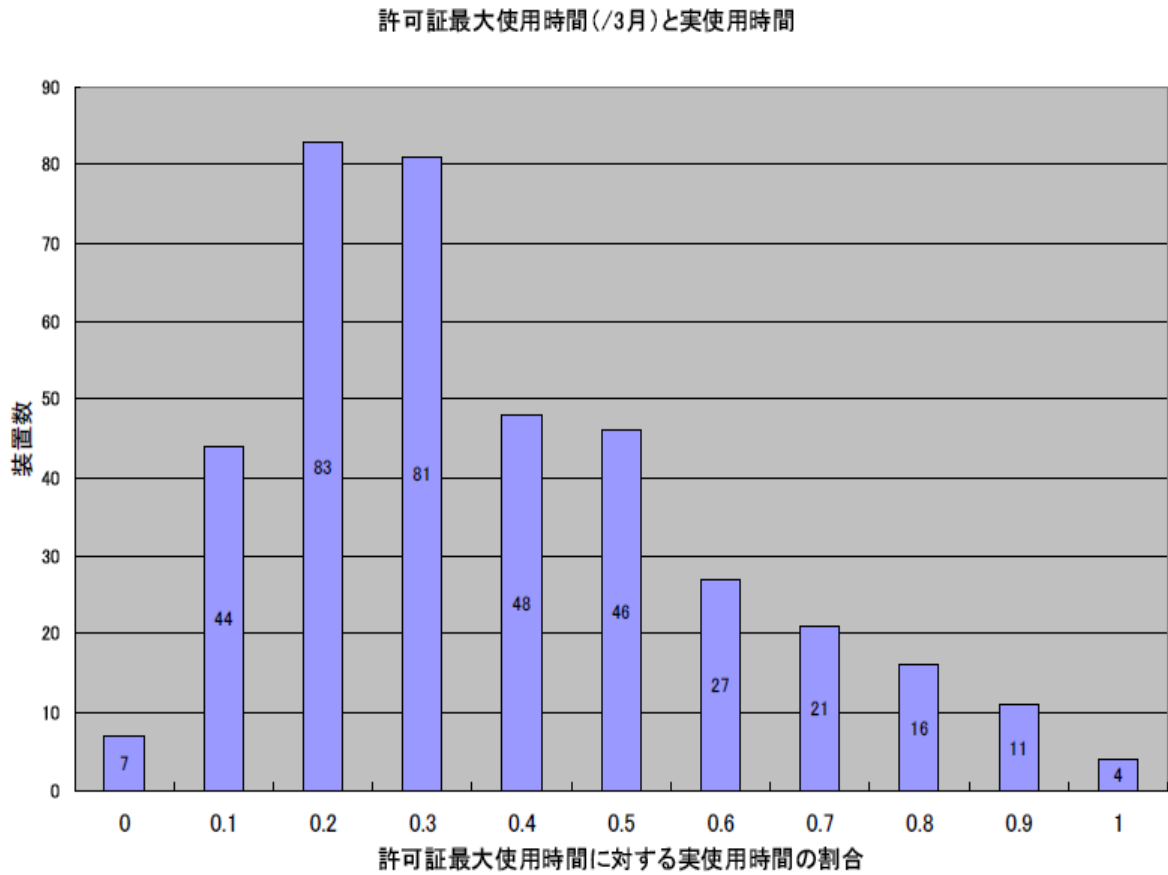


図 4.4 放射線治療用直線加速装置における  
許容最大時間に対する実使用時間の割合

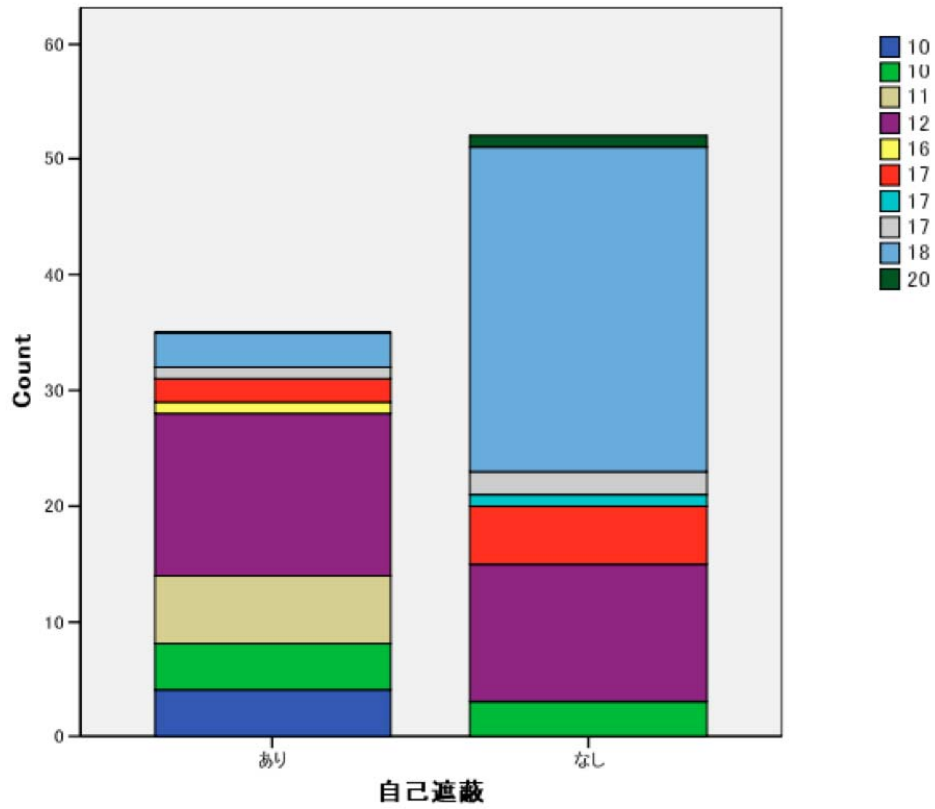


図 4.5 PET 核種製造用サイクロトロンにおける  
自己遮への有無と陽子加速エネルギー  
(凡例最上の 10 は 10MeV 未満、最下の 20 は 20MeV 以上を意味する。)